

お世話になった人への感謝を胸に 高みを目指す

「ず っと頑張ってきたので、とても嬉しい。

入賞は家族やコーチ、学校の先生など、お世話になった人のおかげ」と晴れやかな表情で周囲への感謝を口にするのは、2月上旬に行われた全国中学校スキー大会(全中)アルペン競技の回転種目で、4位に入賞した八幡陸斗さん。中学最後の全中を、念願の入賞で飾った。

アルペン競技を始めたのは、田山スポーツ少年団に入団した小学校2年のとき。「上手くなっていくのが自分でも分か

り、楽しくなってきた」と当時を振り返る。土・日は田山スキー場で練習、平日は盛岡市玉山区にあるスキー場で営業終了時間まで滑っていたという。

中学入学後は、県内の有力選手も集まるスキーチームに移ると、冬はスキー、夏はバレーボールと二足のわらじで取り組んだ。「大変だったが、バレーはスキーとは別の楽しさがあり、仲間と試合に出掛けるのも楽しかった」と笑顔を浮かべると「バレーで培った瞬発力はスキーにも役立つ」と思う。

1年生の時から全中など、全国大会に出場し注目される存在だった八幡さん。昨年、2年生で出場し、11位に食い込んだジュニアオリンピックでは、同年では2番となった。

八幡 陸斗 さん

令和6年度全国中学校体育大会第62回
全国中学校スキー大会 アルペン種目
男子回転競技で4位入賞

やはた・りくと 15歳 〓西根中3年〓

有望選手として24・25シーズンの全日本スキー連盟強化指定選手に指定されると、同じ強化選手との合同合宿も重ねてきた。「一緒に練習したライバルたちの意思の強さや積極性にとっても驚いた」という。刺激を受け、競技への向き合い方を見つめ直すと、1本1本の滑走を大事に意識して取り組むようになった。迎えた今シーズン、県大会、



全中4位入賞のよろこびを学校に報告した八幡さん(2月10日、西根中)

平成21年生まれ。両親、妹と4人暮らし。夏場に活動したバレーボール部では、未経験からのスタートだったが、3年生時には地区中総体で優勝。チーム躍進の原動力となった。所属するスキーチームのコーチには生活面や生き方など、技術以外のことも教えてもらい感謝しきれない。モットーは「練習から全力で取り組む」。

東北大会で回転、大回転競技のいずれも制し、4冠を達成した。当面は、3月に開かれるジュニアオリンピックに向け練習に取り組むという八幡さん。良い結果も大事だが「応援される選手が理想かな」と目指す選手像を話す。周囲の人への感謝を胸に競技に取り組む、将来は「国際大会で活躍出来る選手になりたい」と力を込める。

東北大会で回転、大回転競技のいずれも制し、4冠を達成した。当面は、3月に開かれるジュニアオリンピックに向け練習に取り組むという八幡さん。良い結果も大事だが「応援される選手が理想かな」と目指す選手像を話す。周囲の人への感謝を胸に競技に取り組む、将来は「国際大会で活躍出来る選手になりたい」と力を込める。

【広告】

関節の痛み・変形、痺れ、生活習慣病

専門家が丁寧に診察いたします。

八幡平中央
整形外科・内科
クリニック

	月	火	水	木	金	土
	整	整	整	内	整	整
8:45~11:30	●	●	●	●	●	●
13:45~17:30	●	●	—	●	●	—

整=整形外科 内=内科

八幡平市大更25-117-2 TEL.0195-76-2318

■編集後記

▽2年連続で掲載を断念していた校の名所ですが、本号でようやく紹介できました(21頁参照)。調べる過程で、軽井沢(安代地区)の1本校が今は見られないと知り、残念に思いましたが「根石タムの校も綺麗だよ」と新たに教えてもらいました。時期を合わせ行ってみようと思います。▽各種スキー大会取材。ノーマルヒルサイズのジャンプ台を、踏み切り台近くまで初めて上ることに。階段途中で何度か休憩をはさみながら上りきり、高さにおののきの高さから飛び出す選手のすごさを改めて実感しました。

①